

1月5日 お正月だよ 新春かきぞめ会



西原町文化協会(書道部会)主催の新春かきぞめ会が西原町中央公民館で開催され、76名の子どもたちと保護者が参加しました。子どもたちはお手本を見ながら真剣な表情で筆を運びそれぞれの新年の書をしたため、晴れやかなお正月の気分を味わいました。

12月21日 選挙に行こうよ! ポスターでアピール!



選挙に対する関心の向上、公正な選挙の啓発を目的に開催された「平成30年度明るい選挙啓発ポスターコンクール」において、翁長華音さん(西原南小5年)が沖縄県選挙管理委員会から優秀賞を授与されました。作品には「私の一票 未来への笑顔」と投票を呼びかける児童が描かれています。また、糸数美来さん(坂田小5年)、祖慶聖莉さん(西原東中1年)、伊集月さん(西原東中3年)が佳作を受賞しました。受賞者及び優秀賞作品は沖縄県選挙管理委員会ホームページに掲載されていますのでご覧ください。

12月17日 地域に貢献 総務大臣賞受賞



津花波自治会会長を16年間務めた与儀清一さんが、地域社会の貢献と発展に尽力したことが認められ、団体功労者総務大臣表彰を受章しました。与儀さんは「大変なこともあったけれど、地域との繋がりを大切にするため、子どもたちとお米作りをしたり、3世代交流カレーパーティをしたことが印象に残っている。これからもボランティアとして地域に貢献したい」と述べました。上間明町長は「長い間地域協働社会の実現に向けてご尽力を頂いた。」と感謝を述べました。

12月14日 花を育てるように 思いやりを育てよう



「人権の花運動」の一環として生徒が毎日世話をしたマリーゴールドやインパチェンスが満開を迎え、西原中学校で人権の花「開花式」が行われました。運動期間中、生徒たちは自作したポスターや標語を校舎内に掲示し、人権意識を高めました。また、人権作文入賞者の浜里愛奈さん(3年)、地区意見発表大会最優秀賞受賞の嘉陽海志さん(1年)が作文を発表しました。浜里さんは「嫌い、苦手だと思ってしまうことがあっても、その人の良いところを見つけて一人ひとり違う個性を尊敬しあう気持ちを大事にしよう」と語りかけました。

1月8日 東部消防組合 出初式 決意新たに



平成31年東部消防組合「消防出初式」が同組合構内で開催されました。式では管理者による特別点検と同組合の功労者表彰、東部幼年消防クラブのさざなみ保育園園児によるエイサーの披露や消防署員・団員による合同一斉放水が行われました。また、消防職員とドクターカーが連携して行った救助想定展示訓練では、近年の外国人観光客の増加に伴い、語学研修を受けた消防通訳管が英語と中国語で救助を行うなど日頃の訓練の成果を披露しました。



ブのさざなみ保育園園児によるエイサーの披露や消防署員・団員による合同一斉放水が行われました。また、消防職員とドクターカーが連携して行った救助想定展示訓練では、近年の外国人観光客の増加に伴い、語学研修を受けた消防通訳管が英語と中国語で救助を行うなど日頃の訓練の成果を披露しました。

1月20日 観るともつともつと西原が好きになる!

昨年に引き続き、小・中・高校生が西原町をもっと知ってもらいたい!という気持ちで作成した演劇「さわりと運玉義留」がさわふじ未来ホールで上演されました。本作品はさわりと運玉義留が友情で結ばれた町の人々や未来を思う物語で、西原町生まれの演出家野底武光さんが構成演出を手掛けました。

放課後や週末に一生懸命練習を重ねてきた子どもたちは、練習の成果を存分に発揮し、ダイナミックで息の合ったダンスやアクションシーンを織り交ぜながら演じ切りました。また、Yamato Konoさんを中心とするライブメンバーが生演奏で劇を盛り上げました。主役の運玉義留を演じた照屋拓弥さん(知念高校2年)は、「自分を変えたいという気持ちで参加した。この



劇を見てそう思ってくれる人がいたら嬉しい」と語りました。ユーモラスで若者のエネルギー溢れる舞台に観客は惜しみない拍手を送り、感激して涙をこぼす方もいました。また、オープニングアトラクションでは「創作衆〜桜輝〜」の勇壮なエイサー、劇中では金丸獅子同好会の神秘的な獅子舞も披露され会場を沸かせました。ご協賛頂いた企業の皆様、本当にありがとうございました。



12月27日 仲本百合香さん・賢優さん 姉弟で表敬訪問



ミス・スプラナショナル日本代表の仲本百合香さんとバレーボール第6回アジアカップ男子選手権大会で銅メダルを獲得した仲本賢優さんが町役場を訪れ、それぞれの活躍を報告しました。

百合香さんは12月にポーランドで行われた世界大会に出場し、72か国の代表と美を競いました。大会を振り返り、「結果は残せなかったが、とても楽しめた。文化と環境が違う中、



私は私という芯をもつことの大事さを実感した。日常でも大事にしていきたい」と語りました。

賢優さんは西原東中、西原高校の卒業生で、第6回アジアカップ男子選手権大会にアウトサイドヒッターとして出場し、アウェーの中、台湾に勝利し銅メダルを獲得しました。また、日本体育大学バレーボール部新チームのキャプテンにも抜擢され、益々の活躍が期待されています。12月26日には、西原町バレーボール協会主催のバレーボール教室で、町内4小学校の児童を対象に指導し、参加した児童はトップレベルの選手の指導に目を輝かせて取り組んでいました。また、西原町のバレーに携わる後輩に向けて「まず、バレーを好きになってほしい。楽しむことが一番大事」と激励のメッセージを送りました。上間明町長は「姉弟でより切磋琢磨して今後も活躍してほしい。応援しています」と激励しました。

